



幼保小連携推進事業を始めました！！ ～子どもの生きる力を高め、「小1プロブレム」ゼロを目指して～

小学校に入学したばかりの1年生が、授業中に座ってられない、先生の話聞きたくないなど、学校生活になじめない状態が続く「小1プロブレム」が問題となっています。

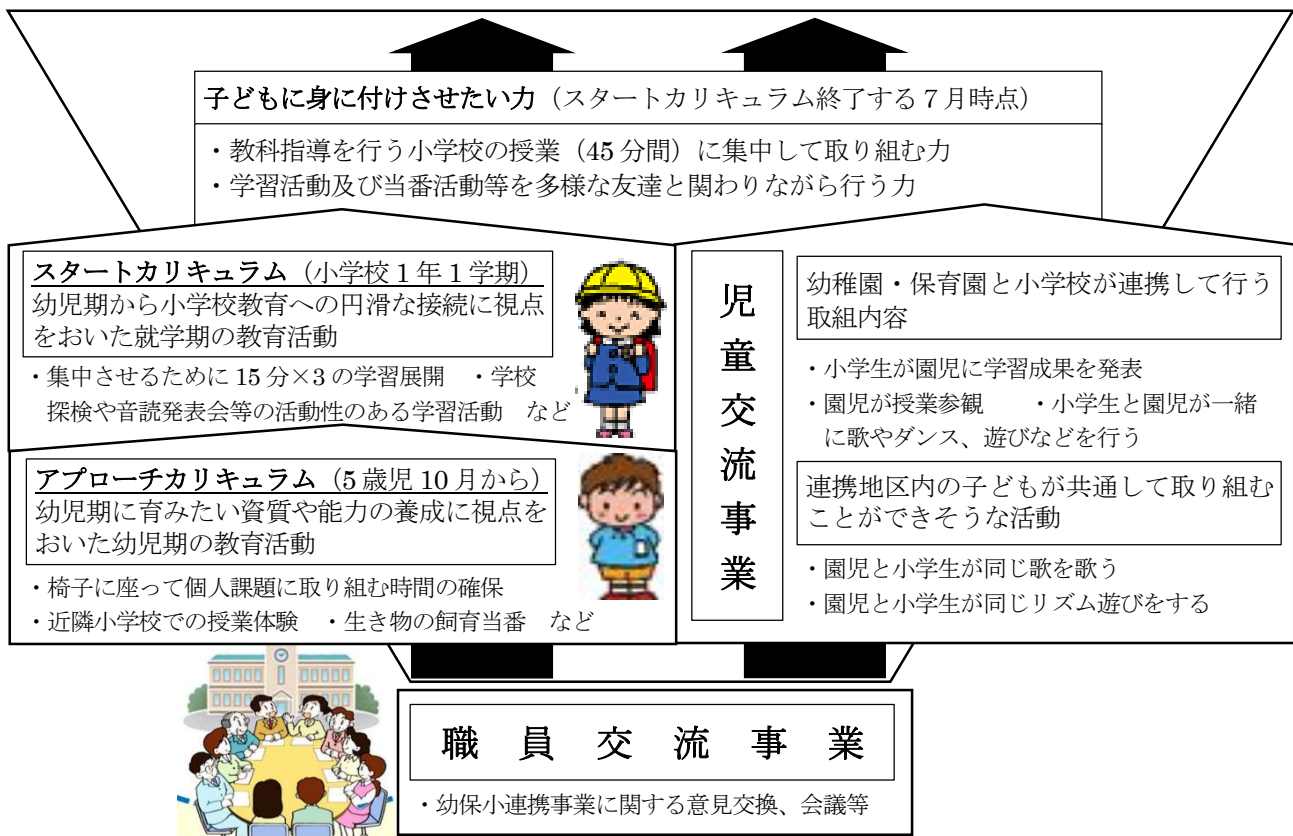
この問題については、小学校入学直後に、遊び中での学びから教科学習に変わることや、生活のリズムが変わることが原因となって引き起こされるとされており、幼保小の「学び」と「生活」の円滑な接続を意識した連携の充実が求められています。町田市ではこの「小1プロブレム」を解消し、子どもの生きる力を高めるため、幼保小連携推進事業を始めました。

■ 幼保小連携事業について

本事業は、町田市版アプローチカリキュラム及び町田市版スタートカリキュラムを作成し、2018年度から町田市内の幼稚園、保育園及び小学校で実施するものです。

2016年7月に、それぞれのカリキュラムを作成するため、市内5つの地域でモデル的に幼稚園、保育園、小学校を選んで「連携地域協議会」を設置し、職員の研修会を行ったり、地域毎に今後の取り組み方針を協議したりしました。今後は、幼児と児童の交流（児童交流事業）、職員の交流（職員交流事業）を行い、「顔の見える」相互の連携強化に取り組みます。

（幼保小連携推進事業の内容）



■ 期待される効果

学びが つながる	幼児期から就学期における子どもの学び、園・学校生活が円滑につながることによって「小1プロブレム」を解消します。
育ちが つながる	学びや生活のつながりが、子どもの就学への安心とともに、自信と主体的な学びを促し、子どもの大きな成長につながります。
子どもの未来が つながる	幼児期から小中学校を通じたつながりの中で、生きる力の基礎が培われ、将来の活躍につながります。

■ 市内5つのモデル地区

地区名	小学校	幼稚園	保育園
町田地区	本町田東小学校	町田こぼと幼稚園・開進幼稚園	草笛保育園
南地区	高ヶ坂小学校	立華幼稚園	高ヶ坂ふたば保育園
鶴川地区	鶴川第一小学校	鶴川若竹幼稚園	小野路保育園・大蔵保育園
忠生地区	忠生小学校・山崎小学校	町田自然幼稚園	しぜんの国保育園
堺地区	小山ヶ丘小学校	町田すみれ幼稚園	サンフィール保育園

■ 事業スケジュール

これまで、幼保小の関係者向けに横浜市こども青少年局担当課長 寶來 生志子氏や、昭和薬科大学臨床心理学研究室教授 吉永 真理氏による講演会を開催し、知識の充実に取り組んでいます。また、連携地域協議会を開催し、地域ごとに連携事業の計画立案作業を進めています。

これからは、連携地域協議会の児童・職員交流事業に加えて、幼保のアプローチカリキュラムを開始し、2017年度から小学校のスタートカリキュラムに取り組めます。

2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
	幼保小連携推進事業		
	町田市版アプローチカリキュラム作成		実施
	町田市版スタートカリキュラム作成		実施